



道路境界から比較的余裕のあるアプローチを「入」の文字をイメージした曲線的デザイン。



玄関から道路まで至近の狭小スペースをレンガの門柱を中心に高低差のある植栽で演出。



都市部のRC建築にさりげなく、生命観を与えるシンプルなデザイン。



モダンな家屋の色調・建材と一体感をもたせた門扉。



重厚な和風住宅にバランスよくあわせたシンメトリックなレンガの門構え。



境界の立木の緑と家屋ウッドデッキとの空間を低めに抑えたデザインが奥行きを感じる。



隣地との調和を配慮したフェンス、芝生と植栽・枕木のアプローチ

伊藤 良男

Yoshio Ito

(株)トータルエクステリア
一級エクステリアプランナー



現代的な和風と洋風のデザイン
敷地や住宅のスタイルに合わせてデザインする



庭創りは家造りとの調和がいのち

五千件の経験と実績に自信があふれる

最近、お客様のニーズが変わってきた。注文の際に訳があり(コンセプトが入っている)これに添える仕事をしなければならぬ。たとえば室内のリビングルームから窓越しに庭を眺めた時のベストな景観を予測し、庭をデザインするなど、このニーズに添えることができるか、という。住む人が庭をいじりたくするようなデザインを心がけている伊藤氏。そして「人の手が入った庭や家は傍目で見るといい」という。

住宅までお金をかけるが、あとの敷地にはほとんど手をかけない状態が多い。住宅メーカーは家と庭(外構)をトータルには考えていないケースがほとんどだという。また、住宅メーカー規格の車庫やウッドデッキを後付けするだけで、家と敷地全体、さらには近所の景観との調和など、おおよそ考えてはいない。他社とは違う素材や材料の専門知識を活かしたデザインをし、納得のいく演出の上で施工をするのだ。エクステリアプランナーとしての使命感がひしひしと伝わってくる。

まだまだ社会的に知られていない業態がゆえ、デザイン料をもらえなく施工費に組み込まれることも多い。ガーデンナーとしての職能地位向上を目指している伊藤氏。将来若い人達が仕事として受け継いでいける環境づくりを常々心がけているそうだ。県内の同業者らと、自分たちの技術向上のため東京・京都・大阪などから著名ガーデンナーを岩手に呼び勉強会を定期的に開いている。

いつも心がけていることは、自然素材を使用し、経年変化に対応する素材を選び組み合わせる。たとえばタタキを透水性のある仕上げにする。門扉や塀と、植栽とのバランスを考え、曲線を生かしたデザインにすることが多いとのこと。

滝沢のショールームには、様々なサンプルがあり、手にとってみることが出来る。たとえばレンガでも色合いや肌合いの異なるサンプルが数十種類並ぶ。世帯主の名盤や輸入郵便ポストなどもある。内部の壁面には、今までの施工例の写真パネルが壁一面に掲げてあり、このなかから好みの空間を見つけられそうだ。

株式会社 トータルエクステリア

展示場・本社 〒020-0172 岩手郡滝沢村鶴岡字笹森71-1
Tel:019-687-2291 Fax:019-687-3685
e-mail:t-ex@total-ex.com

北上営業所 〒024-0071 北上市江釣子17-216-2
Tel:0197-71-5101

許可番号 建設業許可/岩手県知事(般-5)第8888号

営業時間 平日 8:30-18:00
土・日・祝 9:00-17:30
※年末年始・夏期休業あり

http://www.total-ex.com